

デジタル通貨フォーラム 初回報告会

2021年2月9日

デジタル通貨フォーラムの目的等

フォーラム の目的

1. 勉強会の提言に基づき、デジタル通貨の「設計・開発・実験」を行い、デジタル通貨の実現化に近づける
2. PoCで、実利用に向けデジタル通貨の「技術」課題と解決方法の検討・議論を進め、実現に向けた合意点を見出し、サービスやインフラの標準化の検討を行う
3. 引続き検討すべき課題（データガバナンス<プライバシー保護等>、KYC/AML等）に対し、各参加者から提言頂き、課題と解決方法の検討・議論を進め、実現に向けた合意点を見出す

['21末~'22] フォーラム 終了する時 なっていて 欲しい 状態

1. ①約40社参加者から良いFeedbackを貰い、次の実装準備に移れる
②二層型デジタル通貨PFの開発（ユースケースのニーズを取込んだ）が終わり、'22 実装見通しが立てれる
③参加者の中で、ビジネス化/収益化の検討がOfficialに始まる
2. サービスやインフラの標準化が、ある程度完成している
3. 引続き検討すべき課題に対する解決の合意点が出来ている。
4. 2層型デジタル通貨のプロダクトのリリースができる状態。

デジタル通貨フォーラムの進め方

共通・付加領域開発

共通領域の開発および、
ユースケース深掘りによる付加領域の実装フェーズ

PoCフェーズ

二層構造デジタル通貨による
PoCの実行フェーズ



分科会組成状況

12月に立上がりは4分科会。その他の分科会の日程調整等は随時実施させていただきます。

分科会	幹事企業様	開始タイミング
電力取引と支払決済の連携	関西電力株式会社	2020年12月開始
地域通貨への活用	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 株式会社/TIS株式会社	2020年12月開始
小売業の納入チェーンと支払決済の連携	株式会社セブン銀行	2020年12月開始
デジタル通貨Walletのセキュリティ	セコム株式会社	2020年12月開始
電子マネーと預金口座の連携		
グループ経済圏向けの活用		
金融取引および関連事務の効率化		
製造業のサプライチェーンと支払決済の連携		
貸出債権取引における金融機関間の精算への活用		
決済事業者の加盟店精算への活用		
エンタメエリアでの活用		
保険料や保険/給付金における活用		
物流と資金決済の連携		
貿易金融におけるデジタル通貨の活用		
ポイントインセンティブPFとの連携		
銀行間決済へのデジタル通貨の活用		
行政事務との連携		

**順次立ち上げに向けて
調整中**

[ご参考] 費用の考え方

現時点での考え方の大枠。PoCフェーズへの移行は分科会毎の意思決定に基づいて決定する。金額感については分科会や事務局にて今後精緻化予定。

		検討フェーズ		PoCフェーズ	
		全体	分科会	全体	分科会
費用負担の想定	費用項目 (例)	全体会の運営 分科会の統括 2層PFの開発	分科会の運営	全体会の運営 分科会の統括 2層PFの開発 ファシリティ関連	システム利用料 エンジニア スマートコントラクト開発 環境構築、保守運用等 プロマネ 分科会の運営
	参加企業	—	—	○	◎ ※PoCの実施規模によって変動
	事務局	◎	◎	◎	○
	ご参考			半年の運営で約30Mを想定。仮に20社の皆様で按分すると1社あたり1.5M円の費用負担	3か月のPoC実施で約10M～17Mの実績。PoC参加企業が5社であれば1社あたり3.5M円の費用負担。

事務局による対外公表について

■ 対外公表の目的：

- ・ デジタル通貨フォーラムの取組みを広く発信し、わが国におけるデジタル化の活動の一つとして積極的に社会へPRする。

■ 公表方法：

- ・ プレスリリースによる公表を想定しており、全体会の内容踏まえ適宜公表予定。
- ・ 内容は全体会サマリ、分科会の立ち上げや進捗等をイメージしており、ディーカレットHPにおける「デジタル通貨フォーラム」ページでの公表を予定しています。
- ・ 公表内容は参加者の皆様へ事前に共有いたします。また個社名をお出しする場合については事前にご相談させていただきます。